



## 放射冷却素材「Radi-Cool」の施工について



本素材施工済のオフィストップライト



本素材施工済の倉庫

日本空港ビルディング株式会社(以下「日本空港ビルディング」)が販売代理をおこなっている環境負荷低減素材「Radi-Cool(以下「本素材」)」について、今般、フィルムおよび塗料の2種類の製品が大成建設株式会社(以下「大成建設」)の技術センター(神奈川県横浜市戸塚区)内ガラス天井のフィルム素材と倉庫外面への塗料として、施工が完了いたしました。

本素材は、ラディクールジャパン株式会社(以下「ラディクール社」)が製造する素材で、放射電磁波の波長を $8\sim 13\mu\text{m}$ に変換し、自然現象である放射冷却を促進することにより、素材を使用した建物内部等の温度低下や熱負荷を低減する効果があります。

羽田空港のターミナル等に導入されており、室内温度が約13%~17%低下することを実証しております。

日本空港ビルディング及びラディクール社は、広く販売活動を実施し、地球温暖化対策および脱炭素化等の社会課題の解決に向けて取り組みを進めて参ります。

本件に関するお問い合わせ:

日本空港ビルディング株式会社 営業推進室 TEL:03-5757-8073 9:00-17:30(土日祝除く)

メディアからのお問い合わせ先 広報・ブランド戦略室 TEL:03-5757-8030 9:00-17:30(土日祝除く)

ラディクールジャパン株式会社 TEL:03-3257-9551 9:00-18:00(土日祝除く)

## 1. 放射冷却素材「Radi-Cool」について



フィルム素材（シルバータイプ）



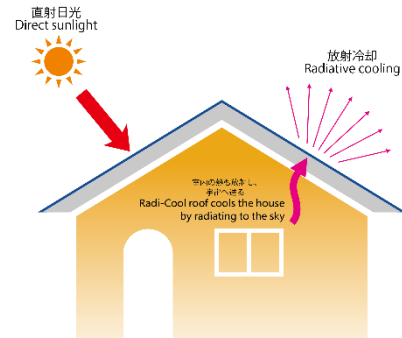
フィルム素材（透明タイプ）



塗料素材

### Radi-Cool の基本原理

太陽光の反射のみだけでなく、世界初の「放射冷却技術※」を活用し、エネルギーを使わず自然の力のみで物体の表面温度を下げるというもの。Radi-Cool は、この放射冷却力を高める設計と既存の日射を反射する技術を併せることによって、表面の熱を残さず、かつフィルムの裏側の熱も含めて放射する、高い温度上昇抑制効果を持った製品です。



※放射冷却技術とは、地球上のあらゆる物体が放射している電磁波を「大気の窓領域」（大気の影響を受けにくい領域）の8~13 $\mu$ m 波長の赤外線に集約し、-270℃ある宇宙へ放出させることで、物体の温度を下げる技術。

## 2. 羽田空港内における導入事例（一部）について※



本素材施工済の PBB  
※室内温度の 13%低下確認済



本素材施工済の第4駐車場連絡橋  
※室内温度の 17%低下確認済

※日本空港ビルデング調べ